

神の国に入る者 千年の報い 心の灯

「あなたの心に与えられた “ことば”」

ヨハネ 1:9-14

■ クリスマスプレゼント

礼拝の始めに、ある小さな男の子が、欲しかったバナナをクリスマスプレゼントでもらい、とても喜んで動画をみました。大興奮です。でも2000年前、イエス・キリストが生まれた時、誰一人こんな反応をする人はいませんでした。見下げられ、必要ないと言われた人たちと、遠い国から来た人たちは彼を歓迎しましたが、多くの人は喜びませんでした。あなたは、喜んでますか？その喜び心が神様への礼拝につながり、そこに神の栄光があらわれるのです。これが「暗闇から光」に変わる方法だったのです。その光とはなにか・・・それを見ていきたいのです。

■ 私たちのズレとは

(ヨハネ 1:9-14)

「はじめにことばがあった」と聖書にあります。日本人はこの「言葉」を重んじます。「言霊」などと言い、言葉が不吉なもの招くとして、特定の数字や言葉を忌み嫌う習慣があります。例えば、病院では死を連想するような言葉は使いません。でもそうすればそれは起こらないのでしょうか。そんなことはありません。このように日本人は、自分の目の前から問題を遠ざけ、なるべくそこを見ないように隠してきたのです。でも隠したかたるといってうまくいくのでしょうか。逆に隠すために何の準備もできず何もたらさなければいかりか、争いしかおこらずその人の生き方を否定するまでになってしまいます。しかし聖書は真逆です。「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。」(ヨハネ 1:14) 「すべての人を照らすそのまことの光が、世に来ようとしていた。」(ヨハネ 1:9) イエス・キリストがやろうとしていたことは、私たちに、私たちのために死んでいくそのプロセスを見せました。行きたくないところや、自分のことを選んでいない人たちのところ、そして人々から虐げられ、遠ざけられた人たちのところに行き、ズレたものを見つけてきたのです。私たちがズレているのは「生き方」「死に方」です。見てはならないと思っているものを、もう一度しっかり見なさい・・・そう言われているのです。「見なければならぬことを見なくなっていること」それが「ズレ」だということを教えているのです。クリスマスは見たくないと思っていたところに光が灯るのです。あなたの人生で「見たくない」と思っているものがあるでしょう。「これは私が悪いのではない」「これは神様の栄光があらわれるためにこうなっているのでは」などいろんな理由をつけ、見なければいけないことを見ないのです。ユダヤ人たちはまさしくそうでした。たくさんルールを作りそれを守っていけばいいんだ・・・だけどその内心は不安でいっぱいでした。だから目の前で正しいことが起こり出すと不安だったのです。「見なければいけないものを見ない」「変えてはいけないものを変えてしまう」「変えなければいけないものを変える決断ができない」私たちはこうやっていつもズレているのです。「この人々は、血によってではなく、肉の欲求や人の意欲によってではなく、ただ、神によって生まれたのである。」(ヨハネ 1:13) なぜイエス・キリストは、男女から生まれてこなかったのか・・・それは今まで繰り返されてきた人の営みがまさしく「ズレ」の根源だからです。クリスマスの時に私たちが考えなければいけないのは、「私たちが今正しいと思っていることが正しいのか」そして「クリスマスは何のためだったのか」・・・私たちが見なかったものをもう一度きちんと見るためにイエス・キリストは来ました。この日がスタートなのです。ここから33年間、彼は私たちとは違う生き方をしました。そしてこのイエス様と同じ生き方をする中に「栄光が現れる」とあるのです。だから、そうでないものがあるのであれば向き合う必要があるのです。でもそれを選べないこともたくさんあります。聖書の中にもそのようにして神様の前から去った人たちもいます。でも私たちは、選ぶようとしています。「礼拝」「クリスマス」は私たちがイエス・キリストのような生き方を本当に行っているのか、それを考える時間なのです。

■ 人生を変える言葉とは

また、言葉には力があります。そしてそれを貫いていくと実が残っていきます。私たちの心の中に光を灯された時に、あなたの心の中に出てくる言葉は何でしょうか。隠れた言葉です。あなたの心に神様がいれば神の言葉が現れ、あなたの心に神様がいなければあなた自身かよくない者の言葉があるのです。言葉はあなたに決断を与えるので、その言葉によってあなたの人生が大きく変わります。そしてイエス様が、あなたの心に残したかったのは、彼の生き様の言葉です。私たちの心の中にその生き様のことばが与えられていると、そこに神様が働き、神の栄光が現れている時に光り、その言葉が出てくるのです。すると奇跡が起きます。すべてを照らすまことの光があなたに灯っているのです。

そしてその灯ったことばがあなたの内側から出る時、いのちのことばの泉となって人々に出るのです。5人の夫をもつ女性がイエス様に井戸で出会い、それを言われた時、真つ暗だった彼女の心の部屋に光が照らされて、そこから人生が変わったのです。それは彼女にとって一番いやな事でした。でもこのようにして奇跡は始まるのです。

■ イエス様がしたかったこと

ある一人の女性が髪の毛を切りました。彼女は病気のために長かった髪の毛を切らなくてはいけませんでした。彼女は泣いていました。すると悲しむ彼女のために周りにいた人々が次々と自分の髪の毛を切ったのです。すると彼女は最後、笑顔になりました。イエス・キリストはまさにこれをしたかったのです。悲しんでいて傷んでいる私たち・・・彼はそれを理解しそこを通り、「私はあなたと一緒にいる」ということを伝えたいのです。あなたの心の中に共にいて「ことば」を残しているのです。「共に歩む」ということばです。誰か一人の人が苦しんでいるのなら、それを分かち合うそう言っているのです。私たちは十字架からそれを学ぶ必要があります。私たちの心にも痛みがあり、それを変わることをない平和の愛に委ねる時に、全てのマイナスな出来事が美しい光に灯されて夜空を照らすのです。

今あなたは、これまで生きてきた当たり前の環境の中で、当たり前のことをしているだけかもしれません。でももし、あなたの人生で言葉が語りかけられて、それが今までの考え方と違う言葉としたら、大切にしてほしいのです。

■ さいごに

「心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人たちのものだから。悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められるから。柔和な者は幸いです。その人たちは地を受け継ぐから。義に飢え渴く者は幸いです。その人たちは満ち足りるから。あわれみ深い者は幸いです。その人たちはあわれみを受けるから。心のきよい者は幸いです。その人たちは神を見るから。平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもと呼ばれるから。

義のために迫害されている者は幸いです。天の御国はその人たちのものだから。」(マタイ 5:3-9)

クリスマスにあなたの心に与えようとした言葉はこれです。そしてまさしくイエス・キリストの生き様はこれです。もし、この言葉があなたの心にあれば、どのような状況があっても大丈夫であることを知るはずです。そして、そのようなマイナスな状況に陥ってはじめて、人はその価値が試され、この言葉があふれて出る時にはじめて神の栄光があなたの人生にあらわれるのです。今、あなたにはどんな言葉がありますか。あなたの心を照らしてください。神様の光を感じ、あなたの心を見極めましょう。そして、傷んだ人の隣人になるために来たイエス様のように、あなたが招くべき人を招いて、あなたの中の光輝く栄光の言葉を与えるべき人に伝えていきましょう。

(要約者:岩崎 祥彦)

(2023年12月24日)